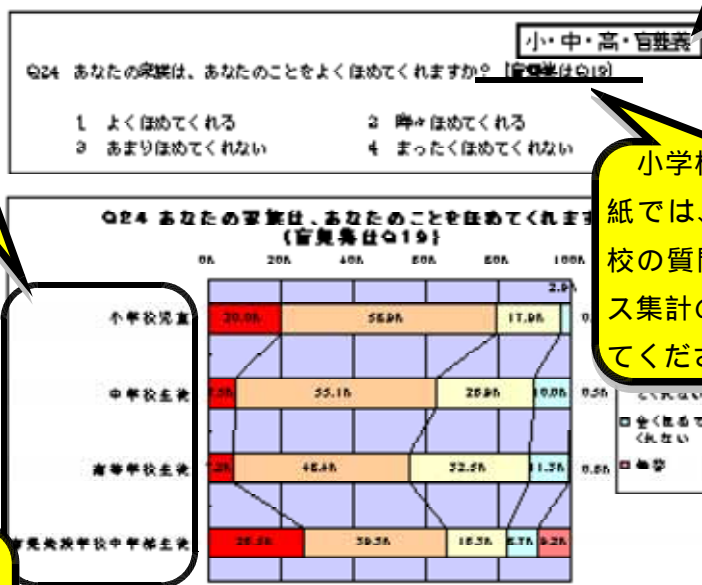


平成16年度 学校教育調査C 活用の手引き

岩手県立総合教育センター

このように活用下さい！！

この「統合 児童生徒」のページは、各校種における同じ質問項目の回答を、ひとつにまとめたものです。「統合 保護者」「統合 担任」も同じ構成であり、その後ろに、校種ごとのクロス集計があります。



この質問は、小学校、中学校、高等学校、盲聾養学校において行いました。

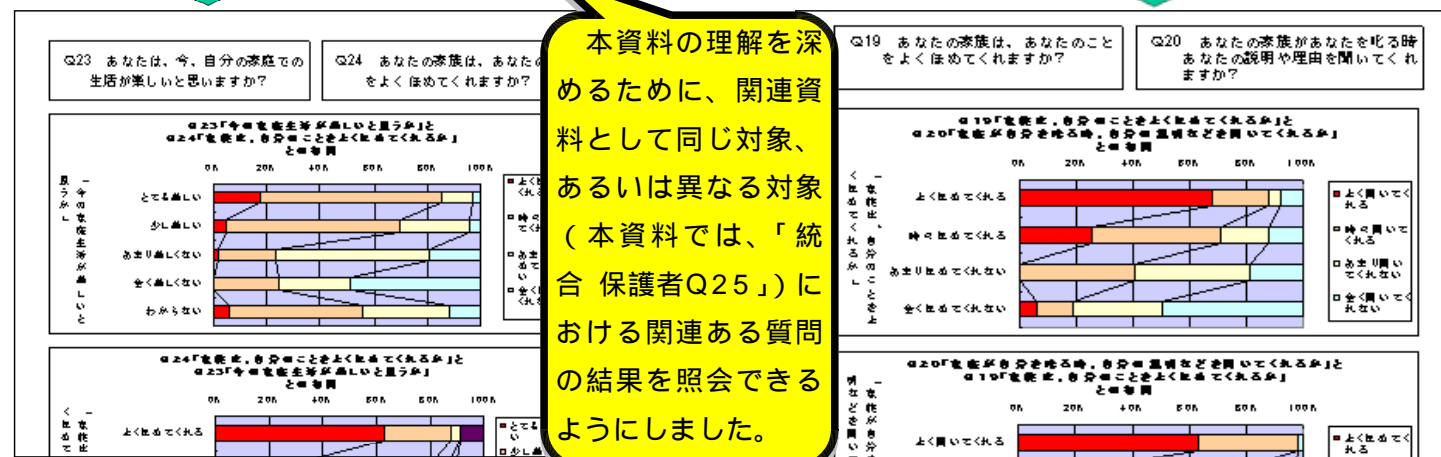
小学校、中学校、高等学校の質問紙では、Q24ですが、盲聾養学校の質問紙では、Q19です。クロス集計の内容を見ると、参考にしてください。

このQ24は、Q23の質問項目と校種ごとにクロス集計を行っています。小学校であれば、「クロス 小学児童」というページをご覧ください。クロス集計は、双方向での分析を行っています。

小学生では、2割の児童が「よくほめてくれる」と感じ、「時々ほめてくれる」と合わせると、8割近い児童が肯定的な回答をしている。
中学生、高校生では、「よくほめてくれる」と感じる生徒が7割程度と、小学生の半分以上であり、「時々ほめてくれる」と合わせても8割前後の回答となっている。
否定的な回答は中学生、高校生が目立ち、「全くほめてくれない」と感じる生徒が、中学生、高校生ともに1割を越えている。
中学生生徒は、「よくほめてくれる」と感じる生徒が全体の1/4を越え、小学生よりも多く、肯定的な回答を合わせると8割を越えている。一方で、否定的な回答は少なく、「全くほめてくれない」という回答は1割を下回っている。
全体的に、半数以上の児童生徒は「家族は自分をほめてくれる」と感じている。中学生生徒における「よくほめてくれる」割合が多い理由は、学校が家庭と連携して、生活のいろいろな場面でほめたり励ましたりしていることが要因の一つとしてあげられる。
「ほめること」の効果を改めて考えるとともに、その効果を学校教育の場で生かして行くことができるように、関係と連携し、積極的に連携を行っていくことが求められる。

参考：【クロス集計：Q23「今の家庭生活が楽しいか」】
【関連資料：保護者Q20「あなたを叱るとき、理由などを聞いてくれるか」】
【関連資料：保護者Q25「子供をよくほめているか」】

盲聾養学校は、この項目（Q19）とQ20とのクロス集計を行っています。「クロス 盲聾養生徒」のページを参照してください。



報告書の内容構成

学校教育調査Cの概要

調査結果の概要

「児童生徒」「保護者」「担任」の対象別に、各質問項目ごとの結果の分析を短くまとめたもの。

分析編

児童・生徒

- ・「統合 児童生徒」

設問ごとに校種の結果を一つにまとめ、分析したもの。

- ・「クロス 小学児童」「クロス 中学生徒」「クロス 高校生徒」
「クロス 盲聾養生徒」

校種ごとに抽出した質問項目について、クロス集計・分析を行ったもの。

保護者

- ・「統合 保護者」

設問ごとに校種の結果を一つにまとめ、分析したものです。

- ・「クロス 小学保護者」「クロス 中学保護者」「クロス 高校保護者」
「クロス 盲聾養保護者」

校種ごとに抽出した質問項目について、クロス集計・分析を行ったもの。

学級担任

- ・「統合 担任」

設問ごとに校種の結果を一つにまとめ、分析したものです。

- ・「クロス 小学担任」「クロス 中学担任」「クロス 高校担任」
「クロス 盲聾養担任」

校種ごとに抽出した質問項目について、クロス集計・分析を行ったもの。

集計編 対象別、校種ごとの集計表。

資料編

集計表 対象別、校種ごとに、質問に対する回答を集計し、グラフにしたもの。

質問紙 対象別、校種ごとの質問紙。

この学校教育調査Cの報告書をはじめ、これまでに行った学校教育調査A及びBの報告書は、当センターのWebページからダウンロードすることができます。是非、ご利用ください。 <http://www1.iwate-ed.jp/> 岩手県立総合教育センター